京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告料 五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告二號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

冥府の伊藤公へ（九）

瀟々綿々庵主人

●閣下は克く浪人を養ひたり而己ならず一能一藝あるものにして草廬に埋沒するものは能ふ丈世に進めて以て國家の人材を作りたりされば天下の士にして志を得ず時に遇はず而も胸中の雄心勃々たるものは一に閣下の麾下に走り閣下の庇護に依りて將來の榮達を圖るを常としたり之れ蓋し閣下の名望一世に冠たるものあるとは云へ亦閣下が名利に淡く文明的政治家として比較的局量の大なるに依るものならん乎山東の及時雨財を散じて廣く交を天下の英雄に納めの語は實に之れ閣下が壯年時代より行ひ來りし手段に非ずや

●閣下も知る如く從來に於ける朝鮮の浪人は一種其の趣き異にし國家社會の憂を以し憂となし天下民衆の患を以て患とする所謂憂世慨時の志士的浪人は寥々曉天の星の如く僅かに五指を屈するも尚及ばざるの觀あり從來彼等の多くは名を朝鮮の獨立に藉りて政界の黑幕に潜み朝野の策士謀將と交訂して其歡心を買ひ一方密計妖策の府たる宮中に出入して陰に其の機に與り以て巧みに彼等を利用して平素の野心と慾望とを充さん事にのみ汲々たり其の心術の陋劣にして行爲の醜怪なる到底同日の談にあらず當時世の毒舌家の所謂浪人に非ずして狼人と言ひしもの蓋し之れ適評に非ざる乎

●然るに閣下は敢て之等の狼人的浪人の行動に意を拂はず朝鮮統治の機關漸を追ふて其の緒に就くにつれ自づと彼等をして時勢の變遷上之れが手段を施すの餘地なからしめ同時に陰に彼等を憫み各々向ふ所の方法を取つて其の途に就かしめたりされば彼等は一々首を垂れ尾を掉つて閣下の宏量と偉器とを慕ひ閣下の爲めに取つて犬馬の勞伺能辭せざるの餘義なきにいたらしめたりされど時勢一變朝鮮は併合され同時に統治機關の轉換に伴つて彼等は忽ち其の所を失ひ爰に唯閣下當時の餘塵の夢を迎ふるの哀れ憐なき境遇にとは立到りぬ彼等の末路も亦悲むべき哉

●閣下半島蹄に京城の言論界は實に閣下の統監時代を以て最とす日刊新聞にあつては所謂民權擁護の急先鋒と自稱せし大韓日報を始めとして朝鮮日々新聞朝鮮新報京城日報京城新報朝鮮新聞（仁川）龍山日の出（龍山）等あり雜誌にあつては朝鮮其の他二三種のあるあり恰かも之れを譬ふれば驕風颯々たる春の野原の羣百花一時に亂れ咲くの觀なきに非ず各々別樣の趣と特種の態とを以て一方に聳立し世人をして半島言論界の盛事が前に空しく後に絶つの感あらしめたり而して此の時に當つて閣下が新聞紙及び新聞記者に對する態度は比較的寬容にして其の記事の所謂閣下より見て以て甚だ放縱に流れざる限りは濫りに處罰の手を下さず且つ新聞記者の來訪に接するあらば進んで之れを引き胸襟を撒して肆々渾々として所見を語るに吝ならざりき從つて新聞紙は各其の標榜するところの見地に依りて時代を論議し閣下の政治を批評し以て半島の進運に貢献する所ありたり而して此の言論の旺盛は閣下の華麗政治と相俟つて益々半島の野を華にしたり（五日午後二時稿）

雜錄

京城週りの記（二）

鐵翠居士

●頭上の瘤の如く政せるものは巍然峙てるガン〳〵堂也思を轉じ更に數歩を進む廣場の中央僅に一本の松あり驅幹横斜に聳へ枝葉繁茂す蓋此の樹は公園の天然の賜にして夏は憩ふ日蔭となり冬は雪を載せて時ならぬ棉花を披き春は寫眞師の種板に映り秋は文士の詩材と吁世に偉人多し多き偉人の中には山の中の松多き此の松の如けんもの幾許ありやかく胸間を往來せし種々の感想は惰夫をして醒めしめんとせり圖あるの前の床机に腰打掛けて男語り婦答ふるものあり予は思へり之れ泥紳の醜婦を携へて獸慾を恣にするの類ならんと近づく事數歩の點月未だ照らさず燈臺輝やかず透視して其風采を伺ふに彼は其品格賤しからず彼の伴へる婦人は其妻女にして擬ける嬰兒は龍卵なるべし快活談剝餘念なきの狀なり而して話頭何時の間にか變り其の妻女の唇より洩れたる奇披の一語は確に予が耳朶に印せり曰く『梅干しを食ゐし時の事を忘れてはなりませぬ』察するに彼は嘗て困難を苦めし事あり今頃稍成効の緒に就けるものならん彼は其夫を諷せしなり語に國亂れては賢相を思ひ家貧しては良妻を思ふと彼の妻女は確に夫を助けて成功せしむる丈の氣才あるに相違なからむ也（八月廿九日第一面のつゞき）

文苑

●歌屑

雲遊霞宿堂主人

○われ故に形づくるといひし人もたのまれぬ世かあぢさいの花

○クローバの四つ葉あさりて幸說きしその娘時しのび泣くかな

○そむきては夢だに今は通はじな勿忘草を胸にせし日も

外事一束

▲獨帝 土國の懷柔に急也徽に土皇太子に最高勳章を贈り今又親く停車場に迎へ國君接待の榮譽を與へ且秋期演習に參列せしめ歡待至らざるなしと

▲獨佛 交渉再開せられたり佛新聞紙が佛國政府案外の讓與と稱するもの實際上獨の要求の最少限度を示す事となり駐獨佛使切齒諮諮したりと云ふ

▲露淸間の伊犁條約改訂に就て露國は積極的行動に出で邊境に各種の施設運動を行ひ爲に淸政府恐慌したるもの今や該會議部に始まる結果如何

▲天津 領事團會議にて水先案內組合設立及鐵道局の積荷物責任負擔議決す

▲數百淸里に亘る岳州對岸の新堤地方長江洪水の爲壞れ數百里一帶の濁海良草なり

▲獨紙 怒吼曰く英の將軍士官獨境の佛國要塞を自由に視察するを默許しつゝあるを攻擊す英佛獨物論恟々たり

▲伯林は排英主義者の大會開かれ且獨の豫備士官當分國外旅行を禁せられ駐獨佛大使は病と稱し室外に出です

▲英佛の新聞紙は巨雷前一分時の如く時局に對し筆を斷てども

▲ドーバー港は大砲射擊練習に急にサウザンプトンの火藥庫は實彈攜帶の多數軍隊に警護され事態急迫し山雨至らんとして風樓に滿つ

▲退嬰なるは此際佛國食料品暴騰し革命的騷擾起りたり佛政府は飾迄秩序恢復に腐心し居れり

▲大統領タフト仲裁條約を通過せしめん爲法曹界の輿論喚起を希望せりと

▲墺●に散解したるスタンダード石油會社株券は估價不明の爲取引中絶すと

▲東三●の防穀令に對し意義不明の廉あり關東都督府正式に抗議を提出せり

●秋植球根草花の數々

▲球根チユリツプ 球根草花中最も秀逸にして一莖に一花を開く花形花色甚だ多くして一重八重等二百餘種あり早春百花未だ笑はざる時艶美なる大輪の花を開く其花狀恰も牡丹芍藥の如く優美高尙百花に超絕す其葉は濃綠に白粉を裝て美更に雅を加ふ懂に草花の王たるの資格あり（鉢植品）

▲アチモネ 前種と同じく球根草花の逸品にして早春花容頗る艶麗紅白黄紫色紅紋りなど數百種あり莖身六七寸一株より多數の花梗を抽く栽培容易なり（同上）

▲レナンラキウス 前種と同じく球根草花中の優品にして花形は恰も罌粟又は芍藥に似て最も豐美艶麗頗る愛すべし一重八重花色に紅白黄等各種あり三四月開花す（同上）



▲クロツカス 花色極めて美麗且矮生なるを以て平鉢に各種混植すれば一層に美觀なり性極て強健繁殖栽培容易にして早春花を開く

▲スノードロツプ 冬月花全く無きの時霜雪を侵して花を開く色は純白にして青暈あり高さ僅かに三四寸一盆數球を植込むときは極めて高尙なる良草なり

球根は日當り宜しき場處を選び植込むべし冬日は日覆をなすべし過濕は忌むを以て能く乾燥する地を撰ぶべし然りとて又日射強く水分全くなきときは萎縮することあれば此種の土質には鉢めて掃寄土の飾ひたるものを混へ置くをよしとす植付は九月より十一月とす早きに過ぐれば腐敗することあるにより發芽後に肥料を與ふるも効少なきによりて植付の前迄に施すべし肥料は種々あれど腐植土に油糟の粉末を加合したるもの或は稀釋したる人糞尿をよしとす鉢植とするには素燒のものを用ひ水分の過ぎざる樣なすべし（岡山縣邑久郡長船農事試驗場報）

召使お初

第百四十二回

黒法師



お察は數に足らぬ女なれど、萬一重き罪に問はれて、御處刑を受くることあらば、主人たるお道も御殿の勸めならず、やがて御暇申し乞ひて宿に下るは必定なり、お道は才色兩ながら他に優れたる女、周防守樣疾より御目を付けさせて、奥方へ御所望もあらせたりといふ、中年寄より中臈にお役替となりならん時、彼女は殿樣寵姬となるべく運好く御胤を宿すこともあらば、緣に繫がる、年寄國尾の勢力忽ち天に冲すべし、これ澤野の堪へ難き苦痛なり、故にこゝにお察を陥れて、まづお道の地位を失はせ、更に國尾を起つこと爲り難きまでに打ちすゑば、彼等一派再び頭を擡ぐる時無きに至らん、斯くしてお奥全体を瘦せたる手に握りたる上、徐に政姬樣御世繼の策を講せば、萬に一の仕損じもあるまじといふ、是澤野の計畫なり

然も第一の犧牲お察は、早くも此方の網に掛けて、長局の一室に押籠められぬ、いかに奥方御勢力を恃みて、彼女の罪を和めんとするも、お館掟嚴としてある間現在證據ある、罪人を宥恕すことは絶えて爲るまじ、されど寸善尺魔の世、油斷して切角物を失ふこともありては爲らじ、一刻も早くお廣敷役人衆手へ廻して、それ〳〵お處刑を乞ひ奉らんとの議、澤野一派人々の間に決し、改めて奥方御前へ申し出でぬ、高が卑しき陪婢の成敗なれど、國尾一派へ對する義理、奥方御許可を得たる上ならでは、廣敷衆にも引き渡されじ

澤野は謹みて御前へ出でぬ

奥方は澤野の云ふ所をつく〳〵と聞かせたるが、理の當然は如何とも爲ん要無し

「憐れとは思ふも、掟とある上は是非に及ばぬ、諸事をよきに計へ」との御諚なりき

澤野は得意顔に聞き取り、さて一段膝を前めて

「他に申し上げる事でござりまする、中年寄お道どの事、召使不調法は、取り直さず我身不調法との主意に出つて、此永のお暇を願はせられでござります、尙勿論お聞き澄みでござりませう喃」

澤野は根を斷りて葉を枯らさん用意濃かなり

「什麼と云ふお道永の暇を願ひ出たといふ、私はまた誰よりも其事を聞かぬか喃」

「御前樣へお執次、私始めござりまするで外々よりお聞き入れあらせらるる筈ござりませぬ」

「お道一身にかゝる事なりや、國尾より申し出もある筈ぢや」と奥方は深く疑はせて「何一應詮議爲」

「お局どはござりまするも、國尾殿もお年寄、不束ながら、私も又た年寄、すれば何れへ申し出るも、當人心次第と存じまする、なれど奥方思召し、私執次お採用ゐあらせられぬでござりまするか」

「左樣には申さぬも、一應は國尾へも談合、追て此方より沙汰をする、まづお察處置の事、そなたより役人共へ申し遣はせ」

澤野も執念くは乞はざりき、委細を領して、悠然と座を起たんとする時

「暫く…暫く待たせ、申し上げる事でござります」

お三の間の廊下に慌しき足音して、お襖外に平伏するは國尾なり、澤野はハッと思ひながら、素知らぬ顔して以前の座に着く

「國尾近う」と奥方は褥の上を滑るほどに座を進ませ「好い機ぢや、問ふことがある」

國尾は襠衣の裾さつと捌きて、二の間中央まで膝行り出る



廣告

京城新報

拓殖務省の再設(一)

序を以て京日子に諭ゆ

西園寺侯の内閣成立と共に政友會の領袖元田肇氏は拓殖局總裁に任ぜらる。而して、政府は拓殖政務を統一するの必要上拓殖局を昇格し拓殖務省となし元田氏を之れに大臣たらしめむとするの計畫ありと。吾人は政府の此計畫を以て極めて時勢に適應するの措置となし、大に歡迎し且つ其實施を速かならしむるは國家の爲に至大の利益なるを叫ばざるを得ざる也。然るに茲に奇ふ可きは總督府御用紙京城日報の之に對する態度なり。同紙は去五日の紙上に『拓殖政務』と題し、拓殖省の新設敢て故障を挾まざるを冒頭に置き、我朝鮮總督は天皇に直隷する最高機關なるを以て、中央官府間の改更は殆ど此半島政務の體系に何等の異動を見ることなきを斷し、往年我拓殖務省の失敗を云爲し、加ふるに英國に於ける印度統治の例を引き、拓殖務省設置の不必要の意味を暗に仄めかせたり。這は朝鮮總督の外眼中政府なき總督府御用紙の例に依て例の盲迷言と解し、竪ち否むべきにあらず。されど男らしく正々堂々眞正面より反對意志を表白する能はず、暗に其成立を妨げむとする彼御用紙の邪境寧ろ憫笑すべきにあらずや。故に吾人は彼御用紙の言に對し一々反駁を加へず、單に吾人が拓殖務省新設を可とするの理由に就て聊か述ぶるあらむとす。

吾人の記臆する所に因れば、拓殖務省を設けむとするの計畫は今に始まりしに非ず、桂内閣當時拓殖局を新設せむとする際に於て議朝堂に上り、桂公自から之が大臣を兼務の意ありしなり。其等の事情を知らずして今更起りしが如くに吹聽せるはそも誤りなり。加ふるに日清戰役後始めて拓殖務省置かれ高島革丙將軍之が大臣となり、間も無く廢省となりし當時に遡りて其失敗を擧げ以て今日を律せむとするは、時勢の推移に伴はざる迂論なりと云はずむばあらず。見よ其當時に比し我殖民地の如何に擴大せられたるかを、朝鮮半島あり、臺灣あり、樺太あり、關東州あり。之等殖民地經營に要する國費の膨脹せるても亦喋々を要せざるなり。而かも我國の殖民地經營は目下試驗時代に屬し、孰れの殖民地と雖も未だ完全なる成績を提供しをるものなし。臺灣の如き當局者は財政の獨立を誇れども、徵細に檢し來れば、實際の財政獨立にあらずして、種々の手段によつて之を裝ひをるに過ぎず。統治后十餘年を經過せる臺灣にして、如此、自餘の殖民地が經濟上母國を煩はす事無きに至るは、更に前途遼遠なるを想はざる可からず。

凡そ、殖民地統治の目的は、母國の財源に俟たざる程度に迄殖民地を富ましむるにあり。如何に殖民地の諸制度整頓せるも經濟上の獨立を見るに至らざる間は、決して統治の完美を言ふ可からざるなり。殊に我殖民地の如く、其經營未だ試驗時代に屬せるものにあつては、之れが統治當局者たるものは、殖民地の幸福と利益を念ふと同時に母國の財力に顧み、殖民地あるが爲に國家の財力疲弊を來たすこと無きに注意せざる可からず。然るに當局者の考慮茲に及ばずして、唯自己の功を收むるに汲々たらむか、却つて國民の反感を招き、延て殖民地經營上大なる不利益を釀すことなきを保せず。況むや、朝鮮總督、臺灣總督、關東州都督、樺太廳長官などが各々其統治方針を固執して中央政府に要求する所あらむか、中央政府は之が善惡を判別し取捨する所なかるべからざるに於てをや。是に到つて拓殖政務統一機關の必要を見る也。

東京電報

▲現内閣と地方政

政友會某領袖の談に曰く新内閣は我黨の宿論たる生産的積極の方針を取るは勿論なるが戰時稅繼續の結果民力の疲弊を來したれば新内閣成立に伴ひ民力の休養を期し今後代議士地方政客等も此主旨の貫徹を期す可きを以て從來中央に重きを置きたる桂内閣の政策は變じて地方に重きを置くに至るべし云々

▲本年の製鹽高

鹽專賣法施行後我國沿岸鹽の收穫は一年約六億六千萬斤にして本年度は年々整理の結果一億四千万斤の減收を見る可き見込なるが結局五億一千萬斤内外の收穫にして比例上平年收額に達する見込なり

▲集金郵便開始

遞信省令を以て郵便規則に改正を加へ十月一日より施行せらる要點左の如し

一、現金取立郵便を集金郵便に改む

一、集金郵便は現金受領證、株式配當券公債又は社債の利子現金受領證を添附したる貨物引換證、船荷證券にして持參人に支拂ふ者とす集金郵便金額を取立て其取立郵便を依賴するものは其金額を制限して一口に付金一千圓とす

一、集金郵便料金は委託金一口現金受領證二錢、證券五錢、證券遞達取立濟金一圓迄三錢、三圓迄四錢、五圓迄五錢、十圓迄六錢、五十圓迄八錢、百圓迄十錢、以上百圓を增す毎に五錢を加ふ之と同時に十月一日以後郵便

▲西園寺侯訓示

五日政友會代議士會に於て西園寺首相は新内閣を組織したる經過を報告し政綱は何れ發表して諸氏の贊同を求むべきに依り今後協力一致國民の信望を高むべき樣の訓示演說ありたり

▲伊皇帝と遣英艦

遣英艦隊鞍馬、利根の二艦は伊太利に於て大歡迎を受けたるに付き島村司令官より左の電報あり

本艦隊が伊太利國ゼノアに碇泊中御巡遊中なる兩陛下はサンタ、パンナラパルデター御離宮に於て本官兩艦長及參謀に謁見仰付られ天幕中にて午餐を賜はり極めて打解けたる御物語りありたり

▲福岡の水道計畫

福岡市にては明年度より四ヶ年繼續にて水道布設の計畫を爲し二百五十一萬二百六十七圓の工費を以て内務省に國庫補助の申請を爲し同省にては國庫補助法に依り工費の四分の一の額に相當する額を補助する筈にて明年度豫算に計上す可し

雜報

●大將出發

大久保前軍司令官は豫定の如く六日午前九時南大門驛發列車にて歸朝の途に就けり停車場には山縣政務總監、上田軍司令官、石塚、倉富、池田、宇佐美、檜垣の各長官、宇佐川總裁、柴參謀長、國分、中村兩秘書官、國分局長、山形、藥師川兩中佐、古城民長、岡本、佐々木、久芳、島田、麦角、中野の各部長、軍師團の將校、朴泳孝、李完用、宋秉畯、閔丙奭、朴齊純等の各貴族、新聞通信記者、約五百余名見送り賑んなりき尚大將發車の際龍山にては十九發の禮砲を發し明石司令官は龍山迄岡本參謀等は釜山迄見送りたり

●大將釜山一泊

大久保大將は六日釜山福田向陽園一泊七日官民の送別會に臨席同夜の聯絡船に搭乘歸東す

●豫算編製終了

豫て編製中なりし明年度豫算は愈々終了したるを以て近日より査定に着手の筈なるが長官會議の議を經て大藏省へ廻付の時日は本月末頃なるべし

●米作豫想高

總督府調査に係る本年九月一日現在第一回米作豫想高九百萬石にして之れを昨年度の實收高八百餘萬石に比較すれば實に百餘万石の增收を見る豫想なり一時本年七月初旬より八月にかけ各地共稀なる水害ありしを以て本年の米作如何を氣遣ひしも幸に其の被害甚しからざりしと作付反別の例年に比し多かりしとにより意外にも斯かる增收を見るに至りと云ふ尚ほ今後に於て大なる被害なかりし以上は第二回の米作豫想調査期たる十月と大差なかるべしと

●鮮銀の貸預金

朝鮮銀行八月中の貸預金左の如し

▲預金の部▼

定期預金	二十七萬五千九百二圓
當座預金	六十一萬一千七百九圓
特別當座預金	三十七万九千二百六圓
諸預金	百六十六萬一千百廿六圓
合計	二百九十二萬七千九百四十四圓

▲貸金の部▼

貸付金	一千二百〇七萬五千五百八十圓
當座貸越	六萬八千五百廿七圓
割引手形	百〇五萬四千九百八十九圓
合計	一千三百十九萬九千八十六圓

●東拓稲作(管理地の)

過般の洪水にて各地方の農作物に多少の損害を與へたるを以て東拓會社は先般同社員をして全羅南道忠淸南道に出張實地踏査せしめたるに出水の爲め畓田の流失及土砂入の難に遭ひたるものは極めて僅少にして却て梅雨前降雨ありし爲め挿秧時機は例年より早く稻苗の活着充分なる力ありしと浸水時間短かゝりし爲め且つ浸水後の除草等手入充分なりしものは成績殊に宜敷又浸水後降雨ありて被害茎に附着せる泥土漸く洗ひ去りしのみならず自後天候順潮にして稻の發育には申分なき生育を遂げ居れるを以て此の分にては平年作以上の增收あるべしと

●練習艦隊入港

練習艦隊阿蘇、宗谷の二艦は五日午後零時四十分仁川入港官民の盛なる歡迎を受け午後七時司令官加藤少將平岡宗谷艦長中島阿蘇艦長乘組將校等十餘名入京せり

●加藤司令官入京

五日夜入京したる練習艦隊司令官少將加藤定吉氏及平岡宗谷艦長、小島阿蘇艦長船越參謀の一行は巴城館に投宿したり

●候補生の入京

練習艦隊の海軍士官候補生一百四十九名は六日午前八時入京せるが市内各所を見物の上午後歸艦すべし

●加藤司令官の歷訪

加藤練習艦隊司令官は船越參謀を隨へ六日午前十一時半總督府に山縣政務總監を訪問しそれより昌德宮、德壽宮、上田軍司令官を歷訪せり

●練習艦隊拔錨期

仁川入港中の練習艦隊阿蘇、宗谷は八日迄碇泊九日午前六時拔錨大連、旅順に向ひ九月下旬佐世保に十月中旬横須賀に歸航し十一月下旬愈々遠洋航海の途に上る豫定なりと

●總督邸午餐會

山縣政務總監は六日別項揭載の練習艦隊司令官加藤少將及中島阿蘇艦長平岡宗谷艦長大石參謀、船越參謀其他乘組將校十余名を總督邸に招待し午餐會を開催したり尚ほ陪賓として明石警務總長宇佐美内務部長官國分局長山形中佐入江書記官藤波通譯官を招待したり

●山縣總監の招待

山縣政務總監は六日午後一時今朝入京の候補生百四十九名を京城ホテルに招待し茶菓の饗應を爲したり

●京義線不通

五日夜來の降雨にて京義線瑞興、鷄井間に故障を生じ今朝より不通となり目下の處にては開通期は未定なりと

●紀念植樹の近況

本年皇祖祭日を以て第一回紀念植樹をなしたる全道の總植付數は四百六十五万本なるも其植付の生着狀況を聞くに二割五分以上の枯損なき見込なるが故約五百二十萬本は生着すべし損傷、盜伐に付きては豫て考慮を費したる所なるも杞憂に過ぎ反て地方朝鮮人の保護撫育を受けつゝあり以て朝鮮人の植樹的思想の進步推知し得べきなりと

●事務打合會と回答

過日山梨縣甲府市商業會議所より京城日本人商業會議所に宛て本月下旬甲府市に於て全國商業會議所聯合會事務打合會を開會すべきに付會頭副會頭若くは代理者の出席方を促し來りしが京城會議所よりは來十月東京に於て全國聯合會を開會する豫定なれば其の期日と前後して開會する方便宜なるべしとの回答を發したりといふ

●新司令官を訪ふ

記者は新軍司令官上田中將に敬意を表せん爲め雨を冒して大觀亭を訪ひ刺を通じ應接室に導かれて待つに間もなく溫乎たる風貌は應接室の入口に現はれたり、將軍は長顏豐頰に莞爾たる笑を含みいと打ち解けたる態にて席に着かる。

記者は將軍の新任を祝し且敬意を表する爲め伺候したりと述べしに將軍は輕く之を受け、ヨク降るのうと云ひ乍ら煙草を進めつ、日淸戰役當時の事共などから談話入方に走る、丁度十七年前ぢや今度來て見て何もかも違つてるには驚く、其當時公使館は今の總督府の處にあつて其下に領事館があつたが今見ると萬事隔世の感ぢや、龍山は汽車の中で見て丈けだが其當時は哀れな寒村であつた、大島將軍(義昌)が混成旅團を率ひて成歡牙山を通つたが其道は今汽車で見ると左の道が本街道でね、凸凹の酷い所を經て龍山に泊る時なぞも民家は鬱し今の樣に携帶天幕なぞもないので竹を切つて柱にしアンペラの家根の下に寢たもんだが今では廣い道路で盛なものだ、平壤邊りも大に發[illegible]つていようと思ふ、ウム其當時の朝鮮人と今との差違かね長煙管を咬て居る所は些つとも變らないね、併し日本人とは大分融和して居る樣だがどうかナ

記者は此時朝鮮二箇師團設置に就て其可否は兎も角として若し二箇師團の壯丁が朝鮮に來住するとすれば彼等が期滿ちて鄕里に歸り在鮮中の事情を鄕黨に語らば一層日鮮の通交を滋くするの利あるべしと云ひたるに將軍はそれもそうだと相槌を打ち種々談話多岐に涉り思はず長座したり。頓て厚く時間を割かれしを謝し辭して玄關に出でし時將軍肋間の金鵄功二級と勳一等とは赫々たる勳功を語るもの〻如く尊く記者の目に映じぬ、因に將軍は朝鮮に對し頗る興味を有せらるゝ如く見受けらる(一記者)

●八月中の漁業

農商工部調査に係る客月中各道に於ける許可漁業四十一件にして其申請者の多くは内地人なるが漁業地は主として慶尙南道沿海なりしと云ふ

●京畿管内米收豫定

京畿道管内に於ける本年の米作收穫豫定は漸く昨今調査を終りたるが本年は各郡を通じて用水不足のため插秧期を後れ且つ植付後に於て旱害を受けたる等にて稍昨年より收穫減したるも一般に作柄良好にして約百十一萬九千九百餘石收穫の見込なり而して昨年の實收は百二十三万四千五百三十餘石なれば減收一割と見るべく之を管内人口百四十萬人に割當すれば一人宛八斗となる譯なるが前年度の實收額は幾分計上數字の誤算も少なからずとの事なり

●群山通信

愛水生

▲忠淸南道舒川郡淸元里なる今井炭礦は當港と一衣水を隔てゝ相對し當地方唯一の炭礦たり同礦は從來日鮮人夫約五十人餘りを使用し手掘的の設備を以て採掘し居りしも何分規模狹小なりし爲め出炭額少く到底收支相償ふの餘地なければ礦主は今回斷然作業を中止し礦の内外全部の設計を變更し蒸氣罐を用ひ卷揚機械及喞筒を据へ付け大々的採掘の方法を講ずる計畫を立て目下右機械の購入中に屬せり愈々全部竣工の曉には優に一日五萬斤以上の出炭あるべしと云へば將來當地に於ては内地炭に比し比較的廉價なる石炭の供給を得て非常に相互間の便益となる譯であるも因に同礦の石炭は無煙炭と稱すれども下關炭に比すれば品質劣等にして且つ火力弱く到底汽罐用及工場其他の燃料には適せない同炭は先般來淸國戎克船によりて(漸を積載して來りし戎克船の復航荷として)北淸方面に輸出せられ結果大に有望とのことであれば將來同地方は同炭に對し屈指の需要地たるべしと礦主は賜つて居る

▲當港は朝鮮に於て米穀の大輸出港として内外に有名なる開港場であるけれども市街は一見如何にもバラック的の粗末なる家屋多く實に見る影もなき新開地たる觀がある處が今回當港に於ける三兩鐵道の位置も既に決定して將來の見定めも略つきたれば此等樞要の地に店舖を有する諸商店は競ふて家屋の本建築に着手中なれば愈落成の曉には當港の市街も多少面目を一新し觀を添ゆることになるであろう

▲兩三日來弗々新米の走り廻着し御祝儀商内として仁川及大坂へ移出せられた此等の新米は重に早神力に屬し品質殆分冑田苅の氣味あるも概して例年新米の分よりは良好なりとの評がある、二週餘も經過せば新米は續々當港に來集して大に市街を賑すであろう(九月三日發)

●李太王の誕辰祝

八日は李太王殿下第六十回の誕辰日に相當するを以て當日は李王同妃兩殿下を始め李王職高等官一同を德壽宮に招待して祝宴を張らるゝ由尙貴族の重なるものは此の日德壽宮に伺候して祝賀を述ぶべしと云ふ

●李王德壽宮御成

別項の如く八日は李太王の誕辰日に相當するを以て李王同妃兩殿下には當日午前八時三十分德壽宮に成らせられ午後五時卅分歸邸なさるべしと云ふ

●早稻田大學校友會

在京城早稻田大學校友は來る八日午後六時より萬千閣に於て觀月宴を兼ね校友會を開く由會費三圓出席希望者は永樂町二丁目櫃藤四郞介氏(電話八九七)へ一報ありたしと

●仁川商議の總會

仁川商業會議所にては八日午後七時より臨時總會を開催し定款改正の件を附議す

●朝鮮銀行移轉期

朝鮮銀行新築舍は外部の建築既に終り目下内部の據造建築に取掛り居れるが本年末までは全部該建築竣工の豫定にして隨て本店移轉營業開始期も四十五年一月早々なるべしと

●市原總裁の歸期

株主總會に列席の爲め東上中なる市原朝鮮銀行總裁は來る十五日東京出發歸任する由

●里長の貧民救助

江原道金化郡二東面水泰里は昨年の凶歉を受け同里の貧民は草根を食するの慘境に陷り就中崔長甫外三名は將さに瀕死せんとするを見て里長沈宜協は醵金として金八圓を分與したりと

●郡許狀授與式

京畿道竹山郡廳に於ては客月二十七日午後二時より國有地小作人約七百人に對し國有地小作認許狀授與式を擧行したるが小作人は從來小作權の不確實により面長等に奪取せられたる事あるも認許狀により初めて小作權確實になりたるを喜びつゝあり

●和野内憲兵特務曹長

第二分隊附班長和野内新藏氏は憲兵隊内の敏腕家なりしが今回特務曹長に昇進し第一分隊附監督分遣所揚根分遣所長に榮轉せり

公人私人

▲古賀廉藏(代議士) 五日天眞樓へ
▲加藤定吉(海軍少將) 同巴城ホテル
▲平岡貞一(宗谷艦長海軍大佐) 同上
▲小島市太郎(阿蘇艦長海軍大佐) 同上
▲船越隆義(海軍大尉) 同上
▲堀勘治郞(晋州裁判所檢事) 淸尾旅館へ
▲熊谷直亮(平壤民長) 同山本旅館へ
▲島村勘太郞(陸軍中佐) 同上
▲多田清松(辯護士) 五日釜山行
▲阿部安積(技師) 同平壤行
▲井上竹松(技師) 同上

仁川港出入船舶

▲群山丸 七日大阪より入港
▲秀吉丸 同
▲漢城號 同 大阪へ向出港

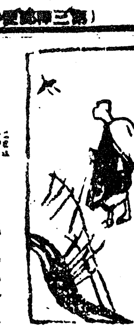
▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
六日	一二八、三八三、三六〇	五二六

▲治外法權▼

昨紙社說子が言つた通り、朝鮮總督府中樞院は其創設以來已に一ヶ年以上になるが、未だ一回の會議だも開かぬ總督府由來冗官に富む、中樞院の如きソレ實は冗官の類か▲サハ云へ來々必要なりと寺内總督が思つたればこそ作つた中樞院、ソレに創設以來一回の會開もしないとはアンマリな事で、コレでは同化同化と同化政策を振揮する寺内のヤヲロとしては自家撞着の樣だ▲自家撞着と云へば此頃の京日はドウダイ、相變らずの御用紙で居ながら、ドウ氣紛れてか新内閣に媚附く、特殊部落の見識はマサカに違つたもの▲新拓殖總裁の元田來月を以て當地に來らんとすと、彼れ來らば大歡迎會を開くべしとは日鮮人一般の希望だ▲ソコで元田が視察に來て一番驚くものは何か、曰く一に憲兵警察、二に憲兵警察、元田は畢竟憲兵警察制度をドウにかせねばならぬ▲大久保大將が出發した、此人頗るの敬神家、停年後の餘命を神道の研究と其普及とに捧げらるゝとの事▲大久保將軍に對する數多き見送り人中何んだか零落したように見れたのが宇佐川であつたとは或人の話だ、宇佐川の陸相、曾つてはあつた說だ、今や然らず、聊かも彼れ貯金を以て近時鄕里に美田を購ふ、彼れや決して零落したるに非ず▲園丘壇を公園とは良い思付き、府廳と民團との計畫に對し記者は双手を擧げて贊成を申す。

(三) 第七六九號 (木曜日) 京城新報 明治四十四年九月七日 (第三種郵便物認可)



▲れ断り 永々御愛顧を蒙り…京城藝妓の半生も一先づ五日附の紙上消華亭の鶴羽を以て打ち切り申せり、之れに代つてサア鬼が出るか蛇が出るか(一記者)

●身成果音菊代(二)

如何に運業娘とは云へ元來が門田に鳴く蛙の聲に眼を覺し山寺の和尚さんがゴンと撞く鐘に日の暮るゝを知る里に育つた身の一時の心得違ひから良人をも棄てた心の迷ひからあらぬ稼業ねもしたけれども併し未だ其の當時の菊代の胸には良心の響があつた、立派な親の命けて與れた菊代と云ふ名が有りながら仇し名を久子と呼ばれ夜毎に變る枕席に侍る身となつては流石に涙なきを得ない、れ父さんれ母さんは云ふ迄もなく兄や妹やにも濟まないことをした事を今の内に何んとかして遁ねられず厭ではあるが良人に詫を入れて歸らうかとも思つたが前世の約束とでも云ふのであらう至然其の氣にも成れず浮かぬ心で浮いた稼業に從事して居た、豚は臭きに居て [illegible]

稼業に趣味を有す [illegible]

樓主福岡の妻君 [illegible]

一ケ月程患つて間 [illegible]

密通 [illegible]

依然樓主の關係を續 [illegible]

藥喰ひに女將には秘密に [illegible]

本店の店員菅野武志の [illegible]

町田 [illegible]

新町遊廓の [illegible]

玉家登樓 米駒(しゆうぎ)には米駒を當てがつて二ケ間も遊んで歸つた事もあつたが樓主との關係が再び問題となつたので鞍替へと決心したのか恰も四十二年の十一月、然る此れ聞き附けた當時桃山遊廓日曜樓の主人現在新町遊廓日曜樓主の奥川安次郎彼れ久子が左褄した奥運女と知らずして下仁して彼れを敵妓に一夜遊興をしたのであつた。

●第一樓高窓の癩癪玉

▽甘い〳〵運漕屋さん

新町遊廓に……何にも今更めかして野暮に丁寧に断らずとも皆様御存じの第一樓本店に高窓と云ふ花魁に似た女郎衆あり此妓妻容もさして美人と云ふではないが何分にも愛嬌と云ふのがタップリとあるのを惜氣もなく振り撒いて少々位の無駄が出てもナットモ驚かず表面は初々しき娘振りに好色客を唸らせ如と云ふ寸法美事圖に當りて本年五月突出し以來間も無く賣ッ妓と成つたるが然るにても娼買の日も淺いのに客扱ひの美事さ天才なる哉と感心するは白痴で實は本場の吉原で右褄取つた強か者も火事にや敵はず焼け出されのマン直し何も若い内のこと見物するだけも利益だと云ふ量見で乘り込んだ [illegible] かと見せて其所にカン〳〵叩いて寄男に里心を出させ [illegible] 積んで居るのだか [illegible] にした方で流連 [illegible] にも南大門 [illegible] 運漕屋金澤さんとや [illegible] り殆んど空前に [illegible] 現に去る四日の午 [illegible] した以來六日の午 [illegible] 來た歸らうとも致 [illegible] 所有難い次第、然 [illegible] した事が一向嬉し [illegible] すになりますから [illegible] 立てる如にしても [illegible] 鉢の前に大胡座み [illegible] 通り俺に甘實際女 [illegible] 樣に氣を揉む事は [illegible] 花魁が乙う氣を廻 [illegible] とか謝罪つて與れ [illegible] こ乙う納り掃る仕 [illegible] れ前さんは自ら度 [illegible] ック腹に極めつけ [illegible]「平假名で書かな [illegible] なア」と幼稚園の [illegible] ないので「貴郎がゐるとヒステリーに罹るワ」と所謂平がなで書いて見せても通せず「乙う氣を廻して騒ぐな」は、好かつたねね

●漢城病院長の述懷

▽五十日餘で痩せた

少々不快を覺ねたので六日午前十時頃漢城病院に安藤院長の診察を受けたが氣にかける程の事でないと判明して安心した僕の顔を眺めた院長は突如「貴紙三面欄で敵國案叢扱りを受けまして困りました、事實なのですから猶困りました、能く考へると最初から黴毒院代用などを引受けるのが間違つて居たです、其間は善良な家庭の患者の足は遠のく入院中の良家の患者は退院する其上ツラ三面で攻撃を受けたのですから全く困りました、併し貴社の攻撃……と申すと語弊がありますが改良せよとの記事が刺撃となつて新町側は八月十三日限り中の新地は九月一日限り引き上げて終ひましたが實を申すと此の五十有餘日間の取締に私は痩せました當新町側は流石に温和だが其他のと來たら素裸体で入八をやる他の患者にはれかまひなしでヤッチロマカセを踊るヲッパ節は唄ふ叱れは怒つて猶騒ぐ電話は晝夜とも彼等の専用となつて聞くに堪ねぬ話が交換される馴染客は引入る餘りの事に家宅侵入罪で訴へ樣かとも思つた事も屢々でした、御覽下さい白髪が此の通り殖ねました 仲には手數を掛けず感心な妓もありました夫れは第一樓本店の若駒井門支店の濱枝京城樓の鈴子など病室から滅多に外出させぬ程でした」云々

●樓主の行衛不明

▽仁川一富士樓主が事

仁川一富士樓主松永熊太郎は去四日仁川港外八尾島附近へ魚釣りに出掛けしまゝ歸り來らず家人は大騒ぎをなし目下捜索中

●井門本店千代子の鞍替

▽支店から久枝と名乘つて

大分縣人宮本まつ(二〇)は藝名久枝と東京生れ飯田はな(二〇)は巴枝、群馬縣人鎌田ちか(二二)は富美枝と名乘り新町遊廓井門支店より今晩は現はれたり因に久枝事宮本まつは是迄井門本店にて千代子と名乘り左褄取つて居た妓にて教育も相當にあり中々悧巧者に同樓にし有數なる賣れつ妓の一人なりしが突然郷里の家計困難に陷入り不得已第二種藝妓になりしとは氣の毒なり

●姦通を拒まれ殺害

平安南道龍岡郡多美面雨洞居住の康時貴が妻徐姓女(二七)は客月二十七日附近の畑中に獨り耕作中兼て目尻を下げし同面長徐豊基(二二)と云ふ出齒男つけ來り姦通を迫りしも應ぜず之に抵抗したるに徐基豊は叶はぬ戀の無念晴しと携帯せる小刀を以て胸部、咽喉部に四ヶ所の刺傷を與へて殺害し其儘逃去しとは呆れた面長かな

●竊盜の仁川出稼

京城東部大廟洞南班趙方の下僕劉尚俊(二二)は八月下旬仁川に至り所々徘徊し居れる擧動怪しきより其筋にて注意中去る一日松峴洞千鳳圭方に忍入り衣類雜品代十二圓餘を窃取逃走中を家人に認められ追跡され折柄巡回中の佐藤巡査に取押へられ直ちに本署に引致し取調べたる處彼は去月下仁以來栗木洞下司儀三郎方外八ヶ所に忍入り贓品百三十圓餘を龍洞川上榮次郎方外數軒に入質し花開洞の鍋南に現を抜かし又は賭博をなして全部費消したる旨自白せしも餘罪ある見込にて嚴重取調中

●少年の二人組竊盜

鹿兒島縣大島郡鬼界村字花良生れ治清哉(一八)は八月二十九日午後八時頃南大門通り一丁目一番戸木村喜次郎方に忍入り瓦斯縞男袷一枚外十四點(代三十七圓餘)を窃取し又九月四日午前九時頃長崎縣人相良豊(一六)と共謀して龍山軍司令部裏山の上にある一軒家藤江某方に忍入り金品十五圓餘を窃取したる事南部署刑事に探知され目下取調中なりと

●歸國途中に赤痢

本籍高知縣香倉郡岩村當時龍山京町出雲大社事務所内教導職丸目幸平孫幸一(一九)は三日實母と共に原籍地へ歸國の目的にて龍山を發し京仁線に乘込み途中赤痢病に罹りたるにより仁川民團避病院へ收容せられたる趣龍山警察署に同地より通知ありたるに付同署よりは香村巡査直ちに出張該家に付き取調べの上消毒法を行ひ交通遮斷せり

●忍入て七十五兩

太平町一丁目丸岸止宿兵庫縣人西川稲藏(二七)の擧動不審なるより南部署刑事連は注意中の處本月三日の夜南部會賢坊水閣洞五十統八戸池龍雲方に忍入り千柄提所有の鞄を破り金七十五圓を窃取したる事を探知し逮捕し目下取調中

●三島女郎のドロン

仁川敷島遊廓敷島樓の抱娼妓三島事小西とめ(二二)は未だ最近現はれた斗りの新妓なるに一寸容貌の好いので大流行妓なりしが入景園の彼の人が馬鹿に氣に入つて仕舞五日夜何處へかドロン

●名月と寶六庵

九月七日は今は廢されたれど廢されぬ舊暦の八月十五日に相當する、舊闇樓射に於てすら名月にも破れた軒庇の間から眺むるも名月に相違はないがサテ左樣な奴らぬ頭の虫鋼の刺肉にも寡菜や海藻の舞うては物足らぬ、月と云へば虫を思ひ千草を思ひつらぬきとめぬ玉を宿す小萩を思ふものだ此れを一つに兼ね備へて更らに後園に栗を拾ふて飯にせよとの自由もきくと云ふに至つては寶六庵に勝る所は田園も佳からう萬千閣も高あるまい、白水も佳からう併し夫れは誰れにても安値にと云ふ譯に行かぬ、漢城公園、倭城臺は共に至極の安値だが夜露が承だ其所でチト遠くはあるが寶六庵だとサモ頼まれた如に提灯を點すものはね(累生)



▲仁川のれ噂を申上候▲鮮樓の仲居にサル、モ、ハ、ノ、ありと知られたれきい、くは堀力太郎と云ふ何處の人だか仁川では名も知られない方に身の代金五百圓にて手活の花と眺めらるべく赤のマンマにトト落わて▲券番の合郡は可愛前田さんと云ふ白鼠が精米百俵餘りを噛つて帳尻が合はず近々或は大掃除の際叩き出されて濡鼠となりはしないかとて愁傷落膽の笄体目も當てられず▲一富士の久子が柄にもなく八月中の稼高となつたることそ不思議なれと他の痴氣を頭痛に病んで探索したもの曰く、秋田さんの隠援與つて大に力あり就れ近々同クンの寵妾となるべしと▲八阪樓の生駒は好きさんと樂みの最中を或恐戯者に見附けられ「要しや與實アノ方には恥つて居ますの、れ察し下さい妻の胸の内」と涙ぐんでの物語り、夫れで他人が承知するかよ、巫山戯るない(仁川小僧)



▲朝鮮貴族尹德榮侯夫人が高等演藝館にて鄭召史なるもの權乘完、林炳三と云ふ好男子と知り合となり永興館なる料理屋に行き云々の投書は仲傷又は侮蔑の意味あるものとして沒とす(係)▲とは知らずさて留守中は卉世話樣だ蓬萊町二丁目住〇〇局に職を奉ずる林某隣家の主人が負傷入院せるを奇貨とし同人の妻女と乳繰合ひ退院後も親切な振して出入するとれ人好しの亭主殿誠に何かとれ世話樣で(好人物)▲本町三丁目の〇田の娘さんか嫁さんか知りませんが近頃の殘暑も御厭ひなく毎日大聲出して琵琶のれ稽古は感心〳〵近所のもの甘眠い時分に聞かされるので喜んで居るが何時も途面のは味噌屋の丁稚(アーメン)▲京城日報の大坂特信は其の人格通りだナ、大坂特信、ヘ、鹽新聞に依る大坂特信ンが卷らぬ嘘ヤイ(穢ゴ)正々堂々と云ふ事を口々とは今体何んな事か捉ねて「馬鹿ッ」と面當立つたと云つて直ぐにしても摸られる事かに僧等に判るものか(正々堂々)ふ小僧等に判るものかうする正々堂々とは百な名刺を振り廻して聽ずることでしよう(小僧)▲京城新聞君本文庫の小僧程何か彼か考へては喋舌奴 [illegible] くも少ないでしよう碌な事も云はない併し、オイ小僧先日の新町遊廓の小物代に、と茶菓子代とに對しての意見は何うかひだらう、併し此の小僧は泥棒の事を(係)▲小僧に遊廓の事を訊くのは間違くとも泥棒とは如何なるものか位の事は知つて居る從つて未だ色慾界の餓鬼たりし事はないが其位の事は知つてる……積りだ▲小物とは襖衣代、燈火代等を意味する關東地方の局店では皆之れを取る▲茶代此れは茶斗り出して二十錢取れば不都合だが菓子が出れば即ち甘喜となる……例令其量は少ないにしろ……併し小僧は未だ淨穢不二門にまで到達して居らぬ所謂小僧だから實地に菓子の量を見屆けて居らぬから此れ以上は判らぬ南無阿彌陀佛(小僧)

제769호 1911. 9. 7.

りん病患者に警告す

サンタールが淋病に特効ある事は今や満天下の認識する處となれり而かも本剤は初より誇大誇張の廣告を為さず謹り其卓抜なる薬効に倚頼して一般の信用を博するに至れるは弊店の誇とする處なり

抑も淋病の如き疾患は其薬効の見易きこと恰も外科醫手術の巧拙と均しく患者自身に於て直に軽快を自覚すると否とに由り容易に判断することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而して市上淋病の特効薬と称するもの枚挙に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は

其優越なる薬効が幾多淋病薬中一頭地を抜くものあるが為めに外ならず

●本品獨特の長所

本品は内服して一種の化學的變化を起し強度の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て淋病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良薬なし

價　慢性痳疾用特製分三圓五十錢、急性用三週分一圓八十錢、輕症用二週分一圓二十五錢、一週分六十五錢、小包密送

登録商標　りん病　複天学病院方剤　サンタール　SANTAHL

京都市二條通木屋町振替大阪三三四番　本家薬學得業士 濱田北辰堂薬局

代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房　電話九百四番　千六十八番　振替口座京城十六番



にせ物御注意　振替大阪七七八

胃病でうん　飲みすぎ食ひすぎに

ゐかいさん　猪飼胃散

定價十錢廿錢卅錢五十錢一円

本舗　大阪江戸堀　猪飼史郎

代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房　電話九百四番千六十八番　振替口座京城十六番

小兒かんむしの良薬

効能　○ひかん○むしけ○ちゝあまし○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ○かべつちをかむ○かほてあしつりなどに大効あり



保壽圓

價五錢●十錢●二十錢●五十錢

本舗　大阪堂島蜆橋　高橋盛大堂薬局

全國到る所の薬店に取次す

代理店　京城本町五丁目　木下大盛堂　同　南大門通三丁目　新井薬房

名譽銀牌受領　キリンビール

移轉廣告

當店儀道路改修の為め左記に移轉致候間此段廣告候也

▲京城南大門驛前

諸機械材料及直輸入製作販賣商　中根商會

電話一四九一番

牛乳大王軍の獨立は

斯業界の進歩革命を意味する者なり

朝鮮總督府醫院御用　平山牧塲

京城大和町一丁目（電話一三三番）

▲營業案内▼

●定期賣買は秘密を嚴守し大阪所市場何れとも便宜御注文に應じ可申候

●現物賣買は弊店が多年の經驗と熟練の技能を以て如何なる銘柄株も極めて迅速に御取扱ひ可申候何卒陸續御注文に不拘御用命の程奉希望候

（曾野商報御申越次第進呈可仕候）

各種有價證券問屋

二曾野峻輔商店

京城南山町三丁目　電話一四〇九番

水車唐箕製造販賣

京城明治町一丁目

土井米吉工塲

電話千三百二十六番

建具襖賣

●●●

襖材料御賣並に襖製造

仕入レ建具類並附屬品各種

簞笥類各種

建具製造襖材料卸　商

京城南大門外御成町

三好市太郎

電話一五九六　振替口座京城二九七番

米國代表車



自轉車　銃砲火薬　直輸入商

直輸入新荷着

實用堅牢車

京城明治町二丁目（電話三〇二番）

瀧川銃砲店自轉車部



複方吐根散

たんせき

代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房　電話九百〇四番　電話千六十八番　振替口座京城十六番

齒科治療

本町六丁目（蕎そば横町）

ドクトル　中村安子

女子見習募集委細面談（電話一五八三）

世界一のかぜ薬



ねつ、はやりかぜ、づゝう、りうまちすに大効あり

乾印　アンチピリン丸

藥價　五錢、十錢、十五錢、廿五錢

發賣本舗　丹平商會

代理店　京城　新井薬房　電話九〇四番一〇六八番　振替口座京城十六番

効能ある温泉

浴用効能　りようまちす、ちうふう、しんけいつう、ぜんそく、かつけ、ぢ、ひぜん、しつ、どくたむし、ひふのいたみ

外用効能　ちきづ、せんきつ、ひふびやう、とびひ、しもやけ

内用効能　いつう、いかたる、べんぴ、きう ...

旅館貸席浴客　鐵冷温泉

京城長谷川町八十七番地　総督府前　電話一四一二番

新荷着

浪平板洋釘各種

多數御入用の御方は特に安價に御相談可致候

和洋金物商

京城本町貳丁目

佐野彥藏商店

振替口座京城一二三〇番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類　巻紙封筒手帳類　洋服附屬品其他　メリヤス類、シャツ　毛布膝掛馬車掛　石鹸香水歯磨類　タオル、ハンカチ　手袋靴下袋物類

正札　一割引なし

官衙、陸軍、銀行、會社御用達

京城本町四丁目

和洋雜貨卸小賣商

池田長兵衛

電話一二〇六番

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候

今回賣店改良をなし最も便利に取扱申候

仁川　靜養所

八景園

（電話五五二番）

義齒術一般

三十日間（割引）

金齒一本一圓五十錢より八圓迄　銀齒一本三十錢より八十錢迄　セメント一本一圓五十錢迄　一本三十錢より五十錢迄

仁川宮町一丁目（三福すし向側）

森冲院

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電話サ）

坂倉支店

齒科診療

京城本町二丁目三越呉服店前

野田齒科醫院

仁川仲町三丁目末永呉服店隣

野田齒科醫院分院

M.C.C.

専賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

土紙耳巻古實

エムシーシー

京城、平壌、龜屋　釜山、木浦、群山　高瀬支店

營業項目

牛乳搾取業

家畜飼養繁殖　畜産物賣買

家畜飼料販賣

種牛種付及貸付

其他畜産業一切

○牛乳販賣は京城牛乳一手販賣所へ委託致候間從來通同所へ御用命奉希上候

○洋牛及朝鮮改良種多數繁殖致候間御求奉希上候

京城南大門外

荒井牧塲（電話一〇五六番）

江華島　荒井第二牧塲

紙と印刷

紙　諸官衙御用

和洋紙帳簿

印刷

各種製本

京城本町六丁目　電話百拾番

播本商店

牛馬犬猫治療所

入院隨意

京城明治町三丁目

院長　小川龜太郎

小川家畜醫院

（電話四二七番）

弊館には夜番の設備有り

陸軍指定旅館　仁川海岸

鐵道院指定旅館

仁川水産組合指定旅館

第一保險會社指定旅館

旭屋旅館

電話二五一

御客樣の安全此の上なし

★株式會社百三十銀行京城支店

電話百九十四番五十八番　振替貯金朝鮮一二三番

資本金五百萬圓

頭取　安田善三郎

爲替取組先

畿内　大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道　津、岡崎、濱松、牛田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、東京、横濱、大磯、静岡、甲府

東山道　大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納、彦根、大津、八幡、長濱、多治見、龜山

北陸道　金澤、高岡、富山、伏木、新潟、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺

山陰道　米子、境、松江、八手、太田、倉吉、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取

山陽道　岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柄、姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、徳山、萩、長府、小月、下之関、明石、津山

南海道　串本、和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、今治、西條、松山、吉田、洲本、川之石、八幡濱、宇和島、高知、徳島、撫養、郡中

西海道　門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿児島、坪井、宮崎、入幡、小倉、中津、行橋、納崎

北海道　小樽、函館、札幌、旭川

台灣　臺北、臺南

樺太　太泊

朝鮮　仁川、釜山、平壌、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、會寧、淸州、大邱、臨南、新義州、城津、開城

滿洲　安東縣、大連、營口、奉天、旅順、長春、大田、金泉

銀行一般の業務補々便利取扱可申候

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

中島醫院

院主醫學得業士　中島貞信

御料理味噌

金山寺

製造發賣元

京城南大門通

遠藤商店

電話九八二番

㊇

芙江公州間定期出帆

芙江發毎日午後一時四十分公州着後六時

公州發毎日前七時芙江着後四時牢船內

御客樣の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前　中條運送芙江支店

キ

汽船出帆廣告

三省丸　甑串行　九月　日前十一時

天草丸　海州行　九月　日前十一時

成歡丸　甕島行　九月八日前八時

安寧丸　海州行　九月八日前十二時

成歡丸　大湖芝行　九月　日前十一時

中　九月

仁川本町四丁目

合資會社　秋田商會船舶部

電話一七三七五〇番